

成田用水施設改築事業に係る事前評価（農業用水）委員会（第2回） 議事概要

1 日 時：平成30年7月25日（水） 13：30～15：10

2 場 所：独立行政法人水資源機構 本社 会議室

3 委 員：石井 敦 国立大学法人筑波大学 生命環境学群 教授
石野 榮一 十文字学園女子大学 人間生活学部 教授
小倉 久子 元千葉県環境研究センター 水質環境研究室 室長
栗原 伸一 国立大学法人千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
桑波田 和子 特定非営利活動法人八千代オイコス 理事

4 議 事

成田用水施設改築事業に係る事前評価（農業用水）委員会（第2回）を開催し、平成31年度予算概算要求で着手要求が行われる予定である「成田用水施設改築事業」に係る事前評価資料について審議し、委員会の意見の取りまとめを行った。

質疑応答の概要は以下のとおり。

（委 員）

評価項目に「担い手への農地利用集積率」があるが、「担い手」の定義如何。

（水資源機構）

認定農業者（特定農業法人を含む。）、認定新規就農者、市町村基本構想の水準到達者及び集落営農経営である。

（委 員）

作物生産効果について、今回、稲類の新設に係る効果を計上しないこととして修正しているが、天水・湧水による営農と、成田用水による営農で収穫量に差はないのか。

（水資源機構）

収穫量に差はあるかもしれないが、総費用総便益比の算定上は差がないものとしている。

（委 員）

農家の同意はどのように確認されているか。

(水資源機構)

土地改良区の総代会において、既に議決していただいております、確認している。

(委員)

地域において今後目指すべき営農の方向性のようなものは整理されているのか。

(水資源機構)

県、関係市町、土地改良区、JA等によって構成される「成田用水事業推進協議会 営農検討部会」において取りまとめた「営農ビジョン」がある。

(委員)

そういったものがあるならば、今後はより議論を行うため委員会において内容を紹介されることが望ましい。

(水資源機構)

今後の委員会運営において留意する。

(委員)

成田空港という大きな消費基地がある地区において、本事業がよい形で活かされ、効果が発揮されていくことを期待する。

(水資源機構)

ご意見のとおり、適切に効果が発揮されるよう努める。

(委員)

事業の進捗や営農ビジョンの実施状況等について、今後のチェック体制はあるか。

(水資源機構)

再評価や事後評価があるほか、時々の状況を踏まえ、必要に応じてチェックや見直しが行われる。

(委員)

事業の評価は問題ない。こういう事業は、最初に10年～20年後の将来ビジョンを出すことが大切である。

(水資源機構)

本事業は更新を基本としたものではあるが、ご意見のとおり「営農ビジョン」を取りまとめている。

(委員)

皆さんの意見に賛成する。本事業により農業振興に当たってもらいたい。

(水資源機構)

農業振興に資するため、本事業を着実に実施していく。

(委員)

事業の実施と併せて、地域の将来的な方向性を示す営農ビジョン等を踏まえ、関係各所と横断的に、農業振興の着実な推進に努めることが望ましい。

(水資源機構)

ご意見のとおり、事業の実施、農業振興の推進に努めていく。

(委員)

地元農家と連携しながら農業振興を図って行くため、営農ビジョンについて広く周知することが望ましい。

(水資源機構)

土地改良区組合員への広報誌や県報の活用などによる周知について検討していく。

(委員)

「国産農産物安定供給効果」について、単位食料生産額当り効果額（原単位）は、全国共通の値か。

(水資源機構)

国の実施したアンケート調査に基づき定められているもので、全国共通である。

(委員)

チェックリストの「担い手への農地集積率」について、谷津田などでは多様な農業が求められるなど、地域ごとに傾向の違いがある中で、全国一律に 80%を判定基準とすることに違和感がある。

(水資源機構)

国が、農地集積に力点を置いているのは、政策目標に「強い農業の実現」を掲げているからである。法的にも、平成 11 年に公布施行された「食料・農業・農村基本法」第 21 条に「効率的かつ安定的な農業経営を育成し、これらの農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立する」ことが規定されているからである。一方で、谷津田等の中山間地域の農業振興も重要なので、同法第 35 条では、「中山間地域等の振興」に係る施策も規定しているところ。なお、ご意見については農林水産省に報告する。

5 委員会の意見

審議内容を踏まえ、「成田用水施設改築」地区の評価は妥当であると判断される。

事業の実施と併せて、地域の将来的な方向性を示す営農ビジョン等を踏まえ、関係各所と横断的に、農業振興の着実な推進に努められることを期待する。

以上